



環境対応 PoE/PoE+ 給電MC収納BOX

2024.4.1(5.0 版)

DNHD1E-PSE(Rev. B以降)

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読み下さい。

製品仕様はHP上の仕様書を参照下さい。

安全にご使用いただくために(使用上の一般的注意事項)

指定用途以外には使わないで下さい！

小型メディアコンバータ(DN*8* *シリーズ)を1台収納し、AC電源より電源供給を行うための収納シャーシです。またPoE及びPoE+の給電機能を備えていますので30WまでのPD装置に電源を供給することができます。それ以外の用途にはお使いにならないで下さい。
また仕様の項目を超えない範囲でお使い下さい。

分解しないで下さい！

取付けてあるカバー類は取り外さないで下さい。分解された場合は一切の保証をいたしません。

製品は大事に扱って下さい！

誤って落としたり、ぶつけたりしますと製品の性能を低下させますので十分にご注意下さい。

異常が起きたら直ちに使用中止！

使用上、煙・臭い・発火などの異常に気がついた場合には、直ちに使用をやめ点検・修理に出して下さい。

条例に従って産業廃棄物として廃棄して下さい！

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って産業廃棄物として処理して下さい。

電波障害自主規制について！

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本製品のご使用にあたって！

本製品は、人命に関わる場合(医療、航空、原子力、軍事等)や高度な安全性や信頼性を必要とするシステムへの使用または機器組み込みでの使用を意図した設計および製造は行っておりません。

従いまして、これらのシステムへの使用や機器に組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じて、かかる損害が直接的、間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任におきまして、このようなシステムへの使用または機器に組み込んで使用する場合には、使用環境や条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなどご注意願います。

大電株式会社



警告

- ・交流100～120V以外で使用しないで下さい。
指定電圧以外で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- ・AC電源プラグはACコンセントに確実に差し込んで下さい。
電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電、故障の原因となります。
- ・アース線を必ず接続して下さい。
アースを接続しないと感電の原因となります。
- ・水につけたり、水をかけたりしないで下さい。
漏電による火災や感電、故障の原因となります。
- ・浴室や加湿器のそばなど湿度の高い所では使用しないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
- ・静電気注意！
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。静電気による故障・誤動作を防ぐため、製品に触れる前には除電を行って下さい。

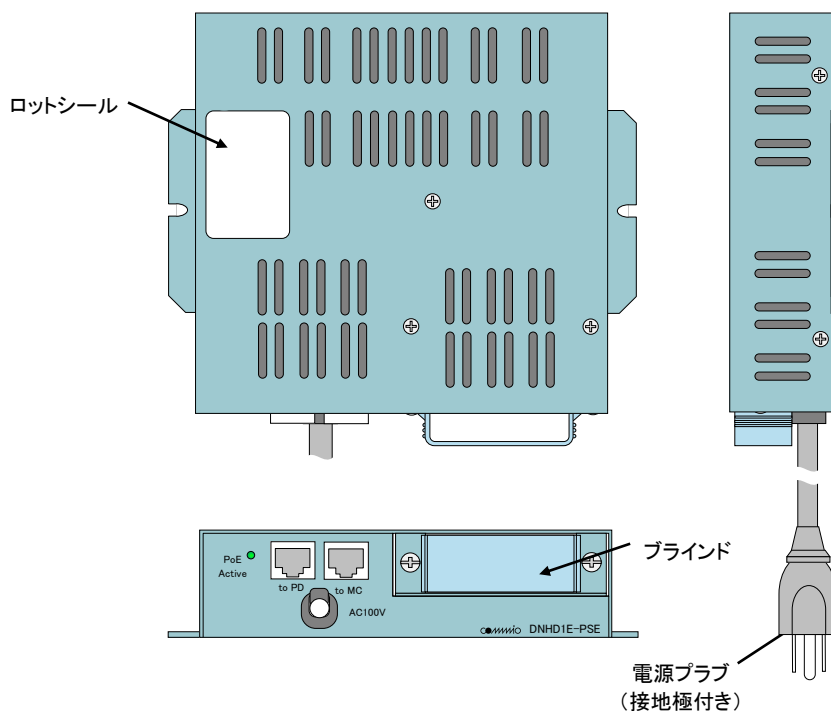


注意

- ・電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いて下さい。
電源コードを引っ張るとコードの損傷が発生し火災や感電の原因となることがあります。
- ・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
故障や感電の原因となることがあります。
- ・アース線の接続及び取外しをする場合は、電源プラグをACコンセントから抜いてから行って下さい。
電源を接続したままアース線の接続や取外しをすると感電や故障の原因となることがあります。
- ・本機をストーブなどの熱器具のそばに置かないで下さい。
ケーブルの被覆が溶けて火災や感電の原因となることがあります。
- ・本機を直射日光の当たる所や温度の高い所で使用しないで下さい。
内部の温度が上がって火災や故障の原因となることがあります。
- ・放熱スリットや隙間に針金や金属物などの異物を入れないで下さい。
内部に触れ感電やけがの原因となることがあります。
- ・放熱スリットを塞がないで下さい。
スリットを塞ぐと内部に熱がこもって故障の原因となります。
- ・本機をほこりの多い所や油煙のあたる所で使用しないで下さい。
火災や故障の原因となることがあります。
- ・本機を不安定な場所または振動や衝撃の多い場所に置かないで下さい。
落下などにより、けがや故障の原因となることがあります。

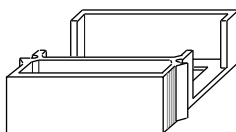
1. 装置各部の説明／付属品

本 体

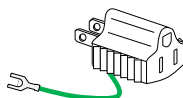


付 属 品

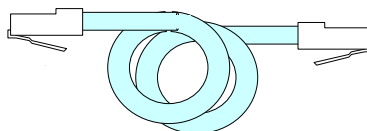
(ブラインド)・・・メディアコンバータを実装する際には取外して下さい。



(変換アダプタ)・・・接地極なしコンセントに接続する際に使用します。



(パッチケーブル)・・・ストレート結線の Cat5e UTP ケーブルです。メディアコンバータと本体間の接続に使用して下さい。

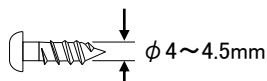


別 売 品

下記部材については、添付していませんので別にご準備ください。

・固定用ねじ:

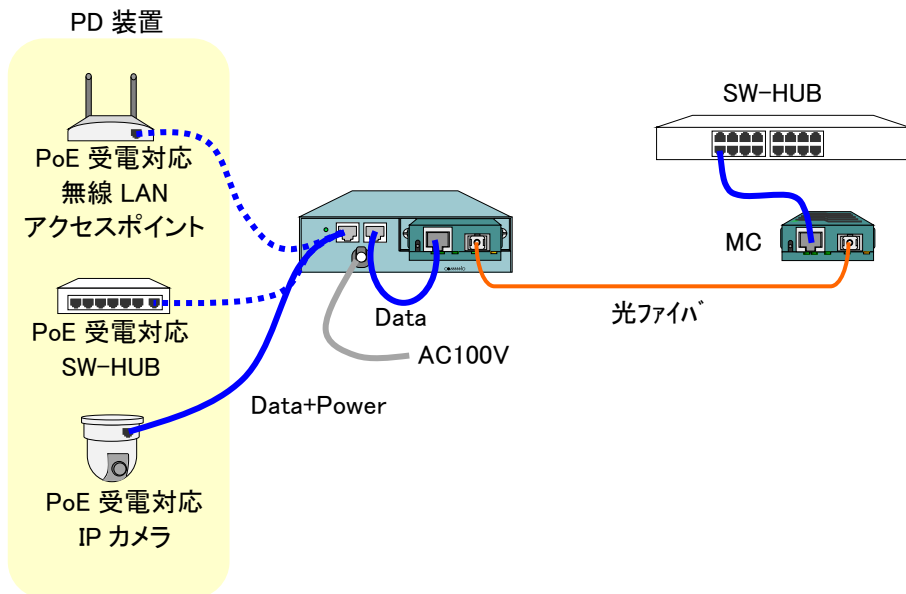
本装置をねじで固定する場合には、呼び径 4~4.5 サイズの相当のねじを 2 本使用して下さい。



2. 概要

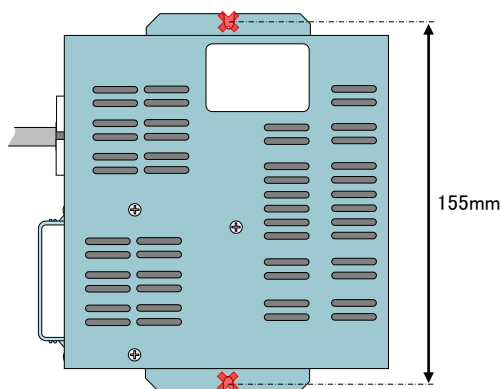
本装置はPoE(Power over Ethernet)のミッドスパン方式の給電機能を持ったメディアコンバータの収納BOXです。2800シリーズなどのメディアコンバータのUTPイーサネット回線を使ってPoE受電対応のネットワークカメラやアクセスポイントスイッチングハブなどのPD(Power Device)装置に電源を供給することができます。

【構成例】



3. 本体の設置

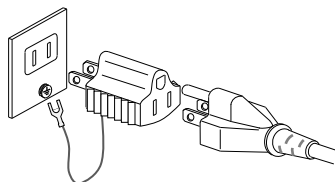
堅牢な壁面等に下図寸法でネジ穴を加工し、M4またはM4.5相当のネジで固定して下さい。(ネジ2本が必要となります)



4. 電源の接続

手順①: アース線の接続

接地極なしのコンセントを使用する場合は、変換プラグの口出し線を接地端子に接続して下さい。



手順②: 電源の接続

電源プラグをACコンセントに差し込んで下さい。
本体に電源状態を示すLEDはありません。メディアコンバータを実装し、メディアコンバータの電源LEDで確認して下さい。

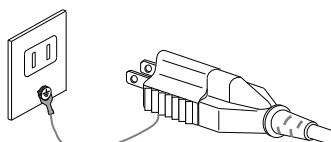
5. 電源の取外し

手順①: 電源の解放

電源プラグをACコンセントから抜き取って下さい。

手順②: アース線の取外し

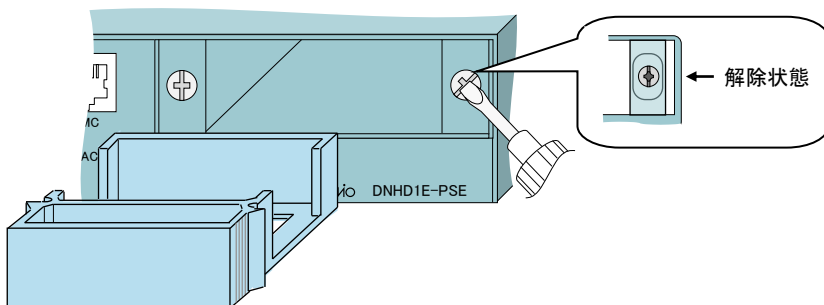
変換プラグを使用して接続している場合は、アース線を接地端子から取外して下さい。



6. メディアコンバータの取付け

手順①: ブラインドの取外し

メディアコンバータを実装するスロット部の両端にあるロックネジをドライバーで90度回転させ解除状態にしてブラインドを取外して下さい。

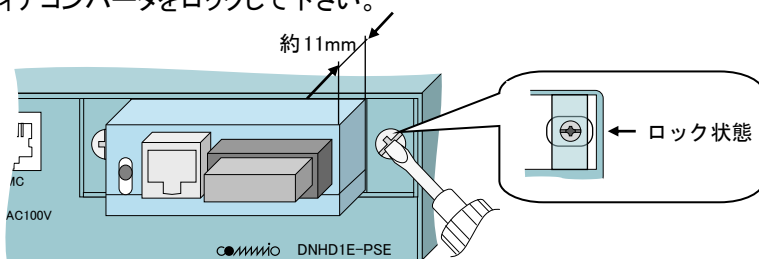


手順②: メディアコンバータの取付け

ブラインドを取り外したスロット部にメディアコンバータを奥まで挿入して下さい。本機の板面から11mm程度突き出した状態が正常に装着された状態です。

本機の電源が投入されている場合には、メディアコンバータの電源表示LEDが点灯することを確認して下さい。(メディアコンバータの電源表示LEDについては、メディアコンバータの取扱説明書を参照下さい)

メディアコンバータを奥まで差し込んだら、両端のロックネジをドライバーで90度回転させメディアコンバータをロックして下さい。



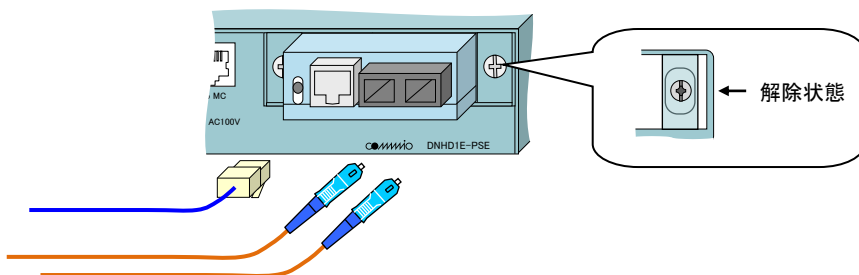
7. メディアコンバータの取外し

手順①: 配線の取外し

メディアコンバータに配線しているUTPケーブル及び光ケーブルのコネクタを取外して下さい。

手順②: ロックの開放

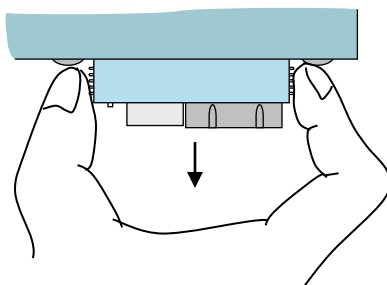
メディアコンバータの両端にあるロックネジをドライバーで90度回転させロック解除状態にして下さい。



手順③: メディアコンバータの取外し

メディアコンバータの側面を指でつまんでゆっくりと引抜いて下さい。

※ロックネジをきちんと解除していない状態で無理に引抜くと、メディアコンバータのケースを破損したり、本機のロックネジ部等を変形させる恐れがありますのでご注意ください。

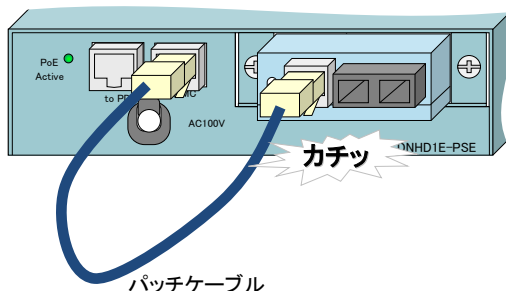


8. 機器との配線

手順①: パッチケーブルの接続

付属のパッチケーブルを本体の『to MC』ポートと実装したメディアコンバータ間に接続して下さい。

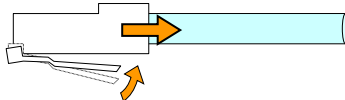
※RJ-45モジュラープラグのレバーロックが「カチッ」と音がするまで確実に差し込んで下さい。



※モジュラーコネクタを取外す際には、レバーロック部をモジュラーコネクタに押し当てた状態のままコネクタを引抜いて下さい。

ロックされた状態で無理に引抜くと、モジュラーコネクタや本体を破損する恐れがあります。

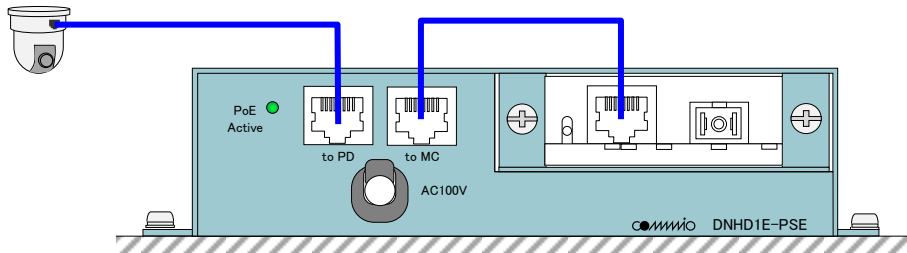
RJ-45 モジュラーコネクタ



手順②: PD装置との接続

本体の『to PD』ポートとPoE受電機能を持ったPD (Power Device) 装置間をUTPケーブルを使用して接続して下さい。

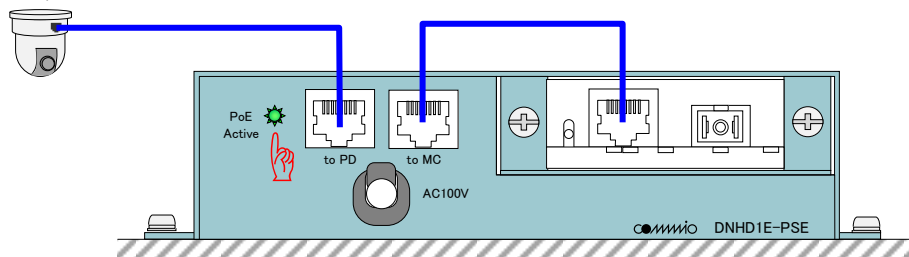
PD 装置



手順③: PD装置との接続確認

PD装置との接続が完了し、電力供給が行われると『PoE Active』のLEDが点灯します。

PD装置



PD対応でない装置に接続した場合は、電力供給は行われずLEDは点灯しません。

9. 装置のI/F仕様

項目		仕様
適合メディアコンバータ		DN*8**シリーズ(小型メディコンバータシリーズ)
PoEポート (to PD)	適合規格	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T IEEE802.3af/IEEE802.3at Power over Ethernet
	伝送速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps
	適合ケーブル	Cat5以上(PoE時) Cat5e以上(PoE+時)
	適合コネクタ	RJ-45コネクタ
	最大供給電力	30W
	電源供給ピン	Alternative B (4, 5-7, 8)
	最大伝送距離	100m (PoEポートとEthernetポートに接続されるケーブル合計長)
Ethernetポート (to MC)	適合規格	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T
	伝送速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps
	適合ケーブル	Cat5以上(10/100M時) Cat5e以上(1000M時)
	適合コネクタ	RJ-45コネクタ
	ピン配置	PoEポートに対してストレート結線
表示LED		PoE Active:PDへの電源供給時に点灯(緑色)
冷却方式		自然空冷
電源コード長		約2.5m
電源プラグ		単相2極(接地極付き)
定格入力電圧		AC100~120V(50/60Hz)
電圧範囲		AC90 ~ 132V
性能保証温度		-10~55°C(※1)
動作保証温度		-20~60°C(※1)

※1: DN2800E シリーズ、DN5800E シリーズ、DN1800E シリーズ(Rev.D 以降)の場合。
 その他機種の場合は、実装するメディアコンバータの保証温度範囲となります。

10. こんな時は

故障かなと思った場合には修理を依頼するまえに確かめて下さい。

PDに電源が供給されない

- 確認①: 電源プラグは根元まできちんとコンセントに接続されていますか？
- 確認②: 接続機器は PoE 受電対応装置ですか？

メディアコンバータに電源が供給されていない

- 確認①: 電源プラグは根元まできちんとコンセントに接続されていますか？
- 確認②: メディアコンバータはきちんと奥まで実装されロックされていますか？

メディアコンバータがリンクアップしない

- 確認①: メディアコンバータの伝送速度とPD装置の伝送速度は合っていますか？
- 確認②: モジュラーコネクタは確実にロックされていますか？
- 確認③: UTPケーブルが断線や異常損失を起こしていませんか？
代替りのUTPケーブルで接続してみてください。

通信状態が不安定になる

- 確認①: UTPケーブルは長すぎませんか？
メディアコンバータからPDまでのケーブル合計長が 100m 以下となるようにして下さい。
- 確認②: UTPのグレードは適正ですか？
カテゴリ-5 以上 (1000Mbps 時はエンハンスドカテゴリ5以上) のケーブルを使用して下さい。
- 確認③: 接続相手の機器の設定と本装置の設定はあっていますか？
全二重と半二重が混在した状態になるとデータが衝突し通信が不安定になります。
- 確認④: PoE 受電アダプタ(DNPOE-PDE)を使ってメディアコンバータに接続する場合には、メディアコンバータをBack to Back接続することになりますので、ブリッジタイプのメディアコンバータを使用して下さい。

